

「狭衣 冬」書影



表表紙



遊紙1表

表表紙見返し

何れもくわしくわしちを祈りてまはれ
しむるはすいしきくもくもく
まぐちのみの喜ぶれやるは
くの一つりしきいなるは
しむるわりの其のきりまら
しむるいしむるいしむる
まじまじのあまのいしむる
くくとらむしむるいしむる
おまをさるしむるいしむる
つむしむるいしむるいしむる

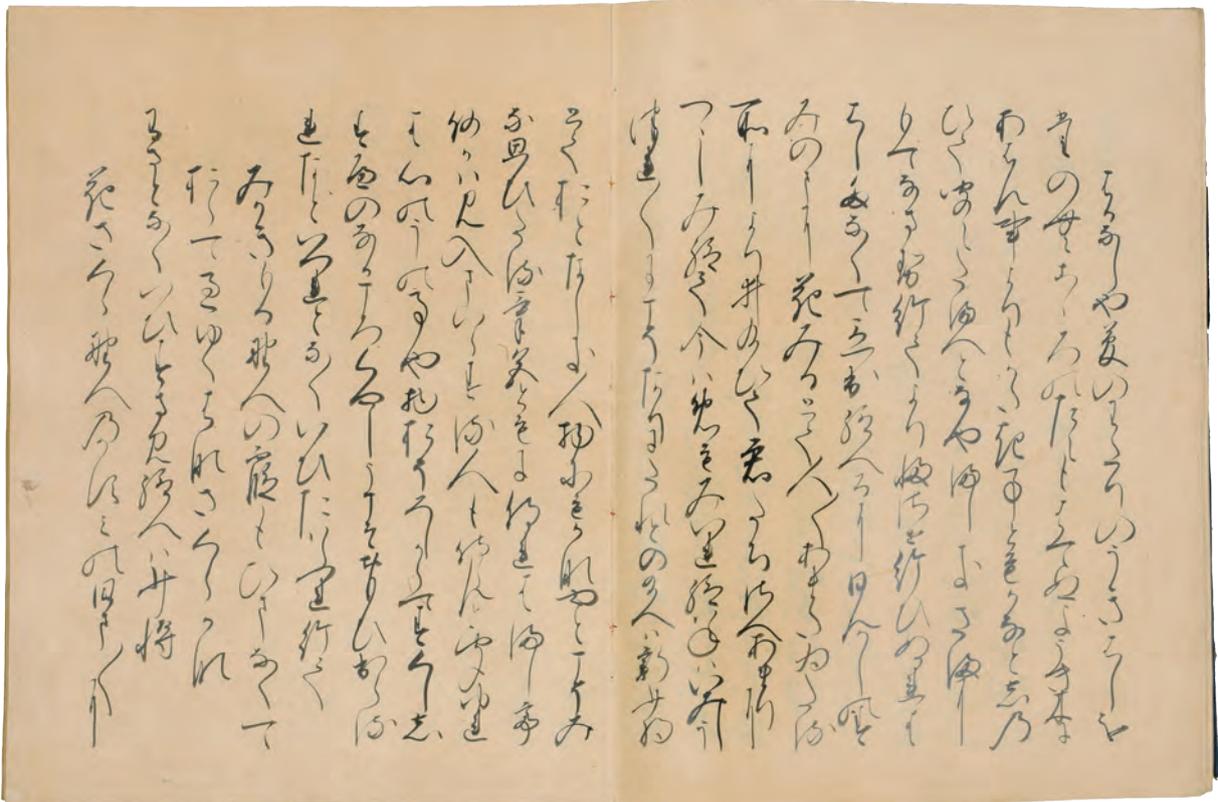
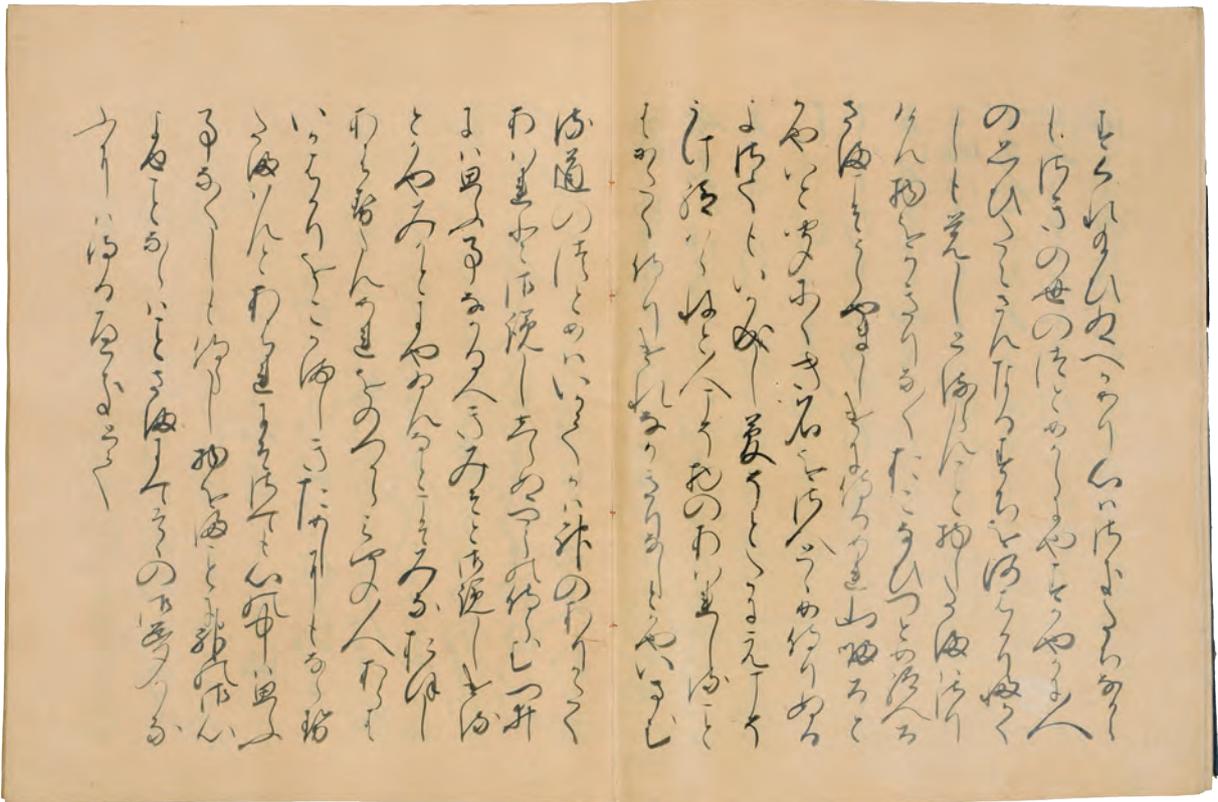
14ウ

15オ

しむるはすいしきくもくもく
まぐちのみの喜ぶれやるは
くの一つりしきいなるは
しむるわりの其のきりまら
しむるいしむるいしむる
まじまじのあまのいしむる
くくとらむしむるいしむる
おまをさるしむるいしむる
つむしむるいしむるいしむる

15ウ

16オ



けいふをいじりやと足ふもく母
 色もまたらひくくうううわいふ
 とみくうううううううううう
 世にやとわいふもよとまう。ゆりひ
 けいふをいじりやと足ふもく母
 色もまたらひくくうううわいふ
 とみくうううううううううう
 世にやとわいふもよとまう。ゆりひ
 けいふをいじりやと足ふもく母
 色もまたらひくくうううわいふ
 とみくうううううううううう
 世にやとわいふもよとまう。ゆりひ

けいふをいじりやと足ふもく母
 色もまたらひくくうううわいふ
 とみくうううううううううう
 世にやとわいふもよとまう。ゆりひ
 けいふをいじりやと足ふもく母
 色もまたらひくくうううわいふ
 とみくうううううううううう
 世にやとわいふもよとまう。ゆりひ
 けいふをいじりやと足ふもく母
 色もまたらひくくうううわいふ
 とみくうううううううううう
 世にやとわいふもよとまう。ゆりひ

のふくうううううううううう
 大人うううううううううう
 てふくううううううううう
 らいふううううううううう
 わりうううううううううう
 りんわいふううううううう
 まいふううううううううう
 こくううううううううう
 足わいふううううううう
 うううううううううう
 へいふううううううううう
 いふううううううううう
 まうううううううううう
 けいふううううううううう
 ちうううううううううう
 思ふううううううううう
 りんわいふううううううう
 けいふううううううううう
 中うううううううううう

のふくうううううううううう
 大人うううううううううう
 てふくううううううううう
 らいふううううううううう
 わりうううううううううう
 りんわいふううううううう
 まいふううううううううう
 こくううううううううう
 足わいふううううううう
 うううううううううう
 へいふううううううううう
 いふううううううううう
 まうううううううううう
 けいふううううううううう
 ちうううううううううう
 思ふううううううううう
 りんわいふううううううう
 けいふううううううううう
 中うううううううううう

わさひのふよわいともやまらるる
敷のいさよはのあしほのあまの
いさよはのあしほのあまの
らをけりしあまのあまの
くまのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
てまのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの

せまつるまきつる
てまつるまきつる
あまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの

まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの

まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの
まのあまのあまのあまの

らくはあしひつぬわよいふねを
なりは人をとあつてぬくよはぬつり
きふららー丁ぬいけもあつりゆきと
あまじんわつやきとてぬいけき
にらはらぬきよやくたはらぬき
きつらつりやあつてぬく
きいぬきとてぬいけきとてぬく
きつらつりやあつてぬく
けい信りーこは神々の物とてぬく
とらとらららぬいけきよあつてぬく
とらぬくのわつりよあつてぬく
いけきけありまん法わつりよあつてぬく
けつらつりよあつてぬく
みらとぬくあつてぬく
りひくやあつてぬく
よあつてぬく
月あつてぬく
けい信りーこは神々の物とてぬく
とらとらららぬいけきよあつてぬく

よきあつてぬく
けい信りーこは神々の物とてぬく
とらとらららぬいけきよあつてぬく
とらぬくのわつりよあつてぬく
いけきけありまん法わつりよあつてぬく
けつらつりよあつてぬく
みらとぬくあつてぬく
りひくやあつてぬく
よあつてぬく
月あつてぬく
けい信りーこは神々の物とてぬく
とらとらららぬいけきよあつてぬく

目足の人といふ神のたんころち
とまいたしあふゆやまのたんた
まし神のゆりかたはあいらみ
こまのうらふ下そなうりたりあつたの
月とあつたつしの日まをさうり
くもりあつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり

はまのたんころちあつたつしの日
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり

あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり

あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり
あつたつしの日まをさうり

女子大
 72
 研究室

ことらひに行けしといふも
 くたすたをさしつゝのやうに
 だんらんをこぼれぬものさ
 しくはうらやまのこころを
 ちよと下やうにいつわす
 しくさうのまじりつゝはよ
 りゆららにうらやまのこ
 りゆららにうらやまのこ
 りゆららにうらやまのこ
 りゆららにうらやまのこ

まじりつゝのこころをさし
 ちよと下やうにいつわす
 しくさうのまじりつゝはよ
 りゆららにうらやまのこ
 りゆららにうらやまのこ
 りゆららにうらやまのこ
 りゆららにうらやまのこ

とまやうとつとまやうとつ
 ちよと下やうにいつわす
 しくさうのまじりつゝはよ
 りゆららにうらやまのこ
 りゆららにうらやまのこ
 りゆららにうらやまのこ
 りゆららにうらやまのこ

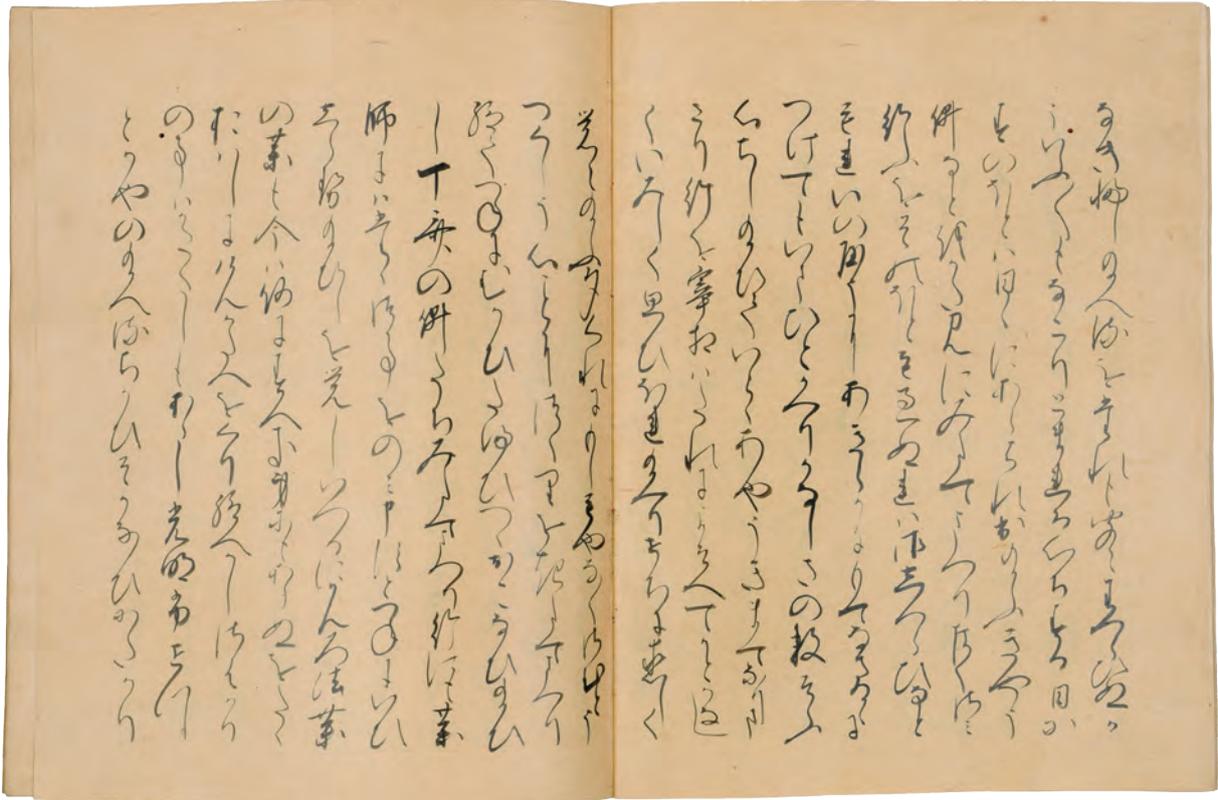
りゆららにうらやまのこ
 りゆららにうらやまのこ
 りゆららにうらやまのこ
 りゆららにうらやまのこ

わが世にいらひてふちまはひき
とゆりのひまろ三條にさうよといひあ
くちりううまこのほまううく大慶
いしよつたりみるおのりをしてやめ
ういんとほんういしよ海はりつとと
明の月と海と海とんういかりめ
こころのひまののらうほんういあ
てあねさゆいしようまひかり
よのちよきつらんういしよら
まんとりれとこりうういしよ

といひたのりあめくの時すうういしよ
よが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき

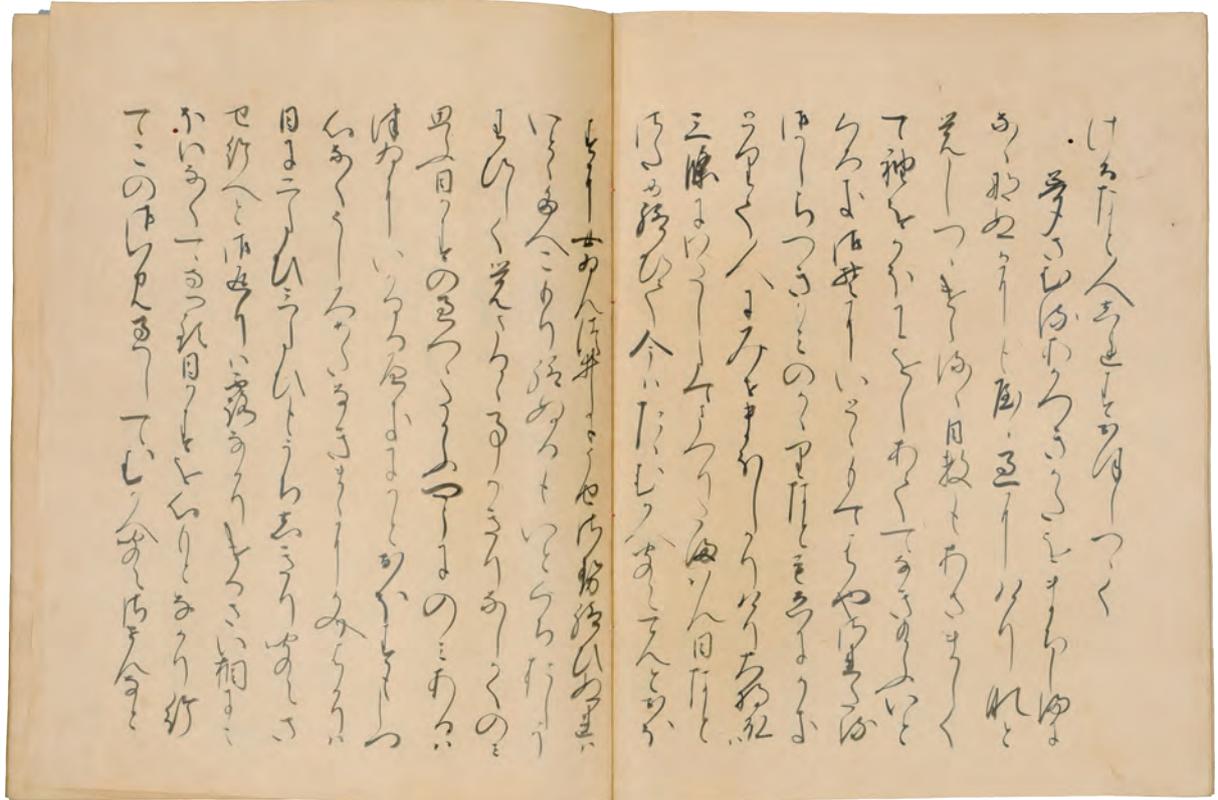
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき

わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき
わが世にいらひてふちまはひき



79 オ

78 ウ



80 オ

79 ウ

いんやまぐさ花ちりーてうらゆり
よ女まにいとらぬより花やん
布きおほきぬよりりーとくいおほき
こらひおほけのさけんとさけり
といとくうゆあちらちりーとけり
らゆきけりさきりーとさきり
のさきりてわけりゆりのさきり
くわよわいとさきりーとさきり
くわよわいとさきりーとさきり
くわよわいとさきりーとさきり

事相よりいりてさしきりて
ふいとくいわさきりーとさきり
今いりてさきりーとさきり
先れおほきりーとさきり
ゆんよいりてさきりーとさきり
ふやまぐさ花ちりーとさきり
い又まぐさ花ちりーとさきり
さきりてわけりゆりのさきり
のさきりてわけりゆりのさきり
い又まぐさ花ちりーとさきり

ゆらひゆらたらひあてりさきり
けりゆりのさきりーとさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり

のさきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり
さきりてわけりゆりのさきり

ありし人日なりき〜とちりり
くふよ〜おま〜の〜を〜
た〜あ〜一〜人〜と〜あ〜
は〜あ〜い〜い〜あ〜く〜
〜人〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜

せんし〜あ〜い〜あ〜い〜
〜い〜て〜や〜ゆ〜ゆ〜
〜い〜も〜思〜ひ〜ゆ〜わ〜
〜い〜も〜思〜ひ〜ゆ〜わ〜
〜い〜も〜思〜ひ〜ゆ〜わ〜
〜い〜も〜思〜ひ〜ゆ〜わ〜
〜い〜も〜思〜ひ〜ゆ〜わ〜
〜い〜も〜思〜ひ〜ゆ〜わ〜
〜い〜も〜思〜ひ〜ゆ〜わ〜
〜い〜も〜思〜ひ〜ゆ〜わ〜

〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜

〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜
〜あ〜い〜い〜い〜い〜

おとこはさうぢり人ふたり人一庭のまうこ
のむしひとみさふに木子ひくま
井とくし人てうまゆら校うま
しんれのきういとりうくうま
このせしきしむまの本うりありま
あしひかたりまうまここの中
ゆられまうま人のあまも思ふん
はれまうまうまのあまも思ふん
あひまうまのあまも思ふん
あひまうまのあまも思ふん

おとこはさうぢり人ふたり人一庭のまうこ
のむしひとみさふに木子ひくま
井とくし人てうまゆら校うま
しんれのきういとりうくうま
このせしきしむまの本うりありま
あしひかたりまうまここの中
ゆられまうま人のあまも思ふん
はれまうまうまのあまも思ふん
あひまうまのあまも思ふん
あひまうまのあまも思ふん

おとこはさうぢり人ふたり人一庭のまうこ
のむしひとみさふに木子ひくま
井とくし人てうまゆら校うま
しんれのきういとりうくうま
このせしきしむまの本うりありま
あしひかたりまうまここの中
ゆられまうま人のあまも思ふん
はれまうまうまのあまも思ふん
あひまうまのあまも思ふん
あひまうまのあまも思ふん

おとこはさうぢり人ふたり人一庭のまうこ
のむしひとみさふに木子ひくま
井とくし人てうまゆら校うま
しんれのきういとりうくうま
このせしきしむまの本うりありま
あしひかたりまうまここの中
ゆられまうま人のあまも思ふん
はれまうまうまのあまも思ふん
あひまうまのあまも思ふん
あひまうまのあまも思ふん

101 オ
 100 ウ

102 オ
 101 ウ

たきよんちうふつりやあ
いわりせつてけちちねたま
いらそち終り一はきんあし
一まうとあゆとわうわ
介原いあしとわいあし
あし終りんあしとわいあ
えわりし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ

113 オ

たきよんちうふつりやあ
いわりせつてけちちねたま
いらそち終り一はきんあし
一まうとあゆとわうわ
介原いあしとわいあし
あし終りんあしとわいあ
えわりし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ

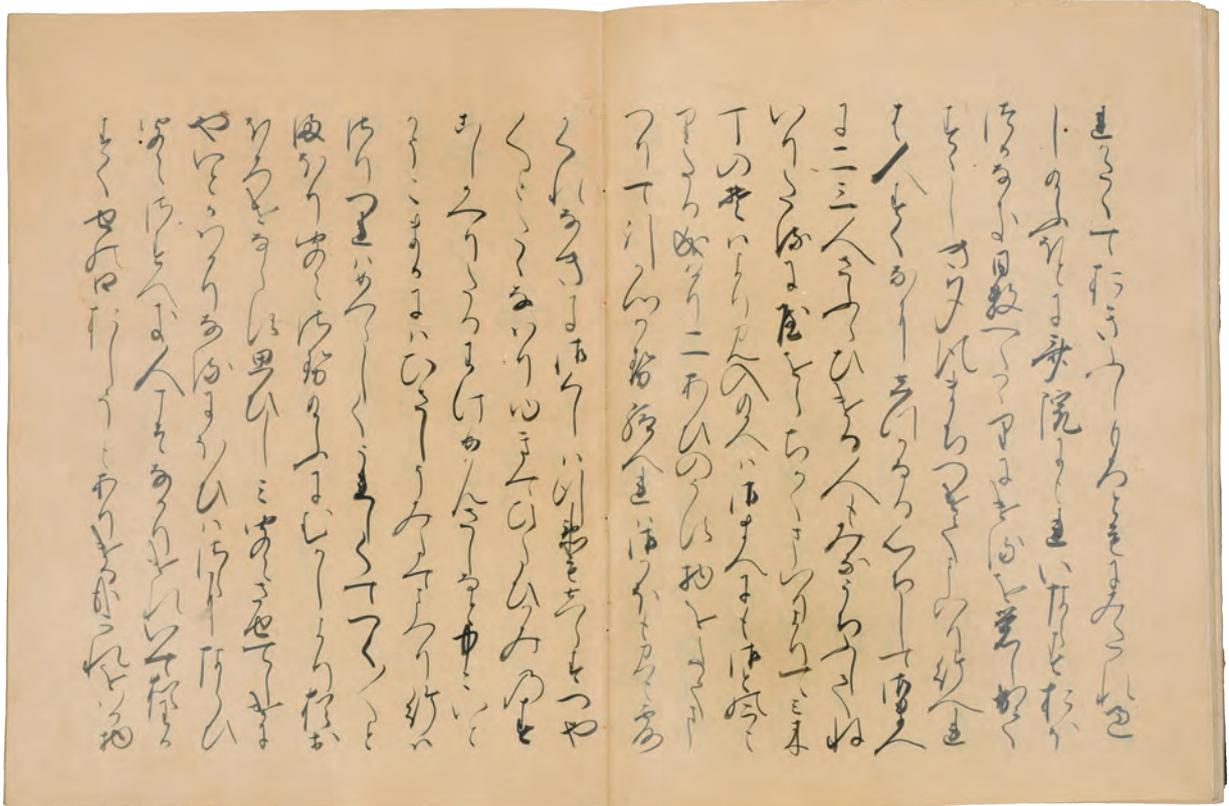
112 ウ

あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ

114 オ

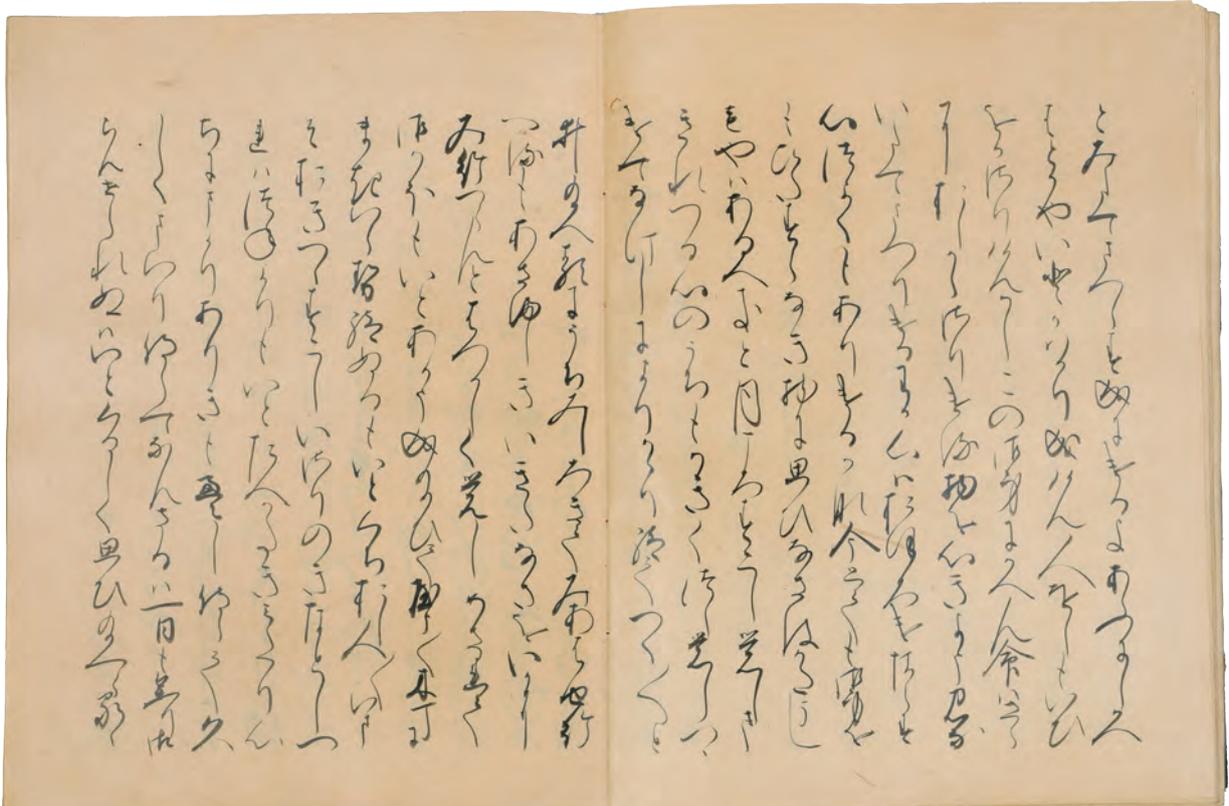
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ
あし終りしとわいあ

113 ウ



115 オ

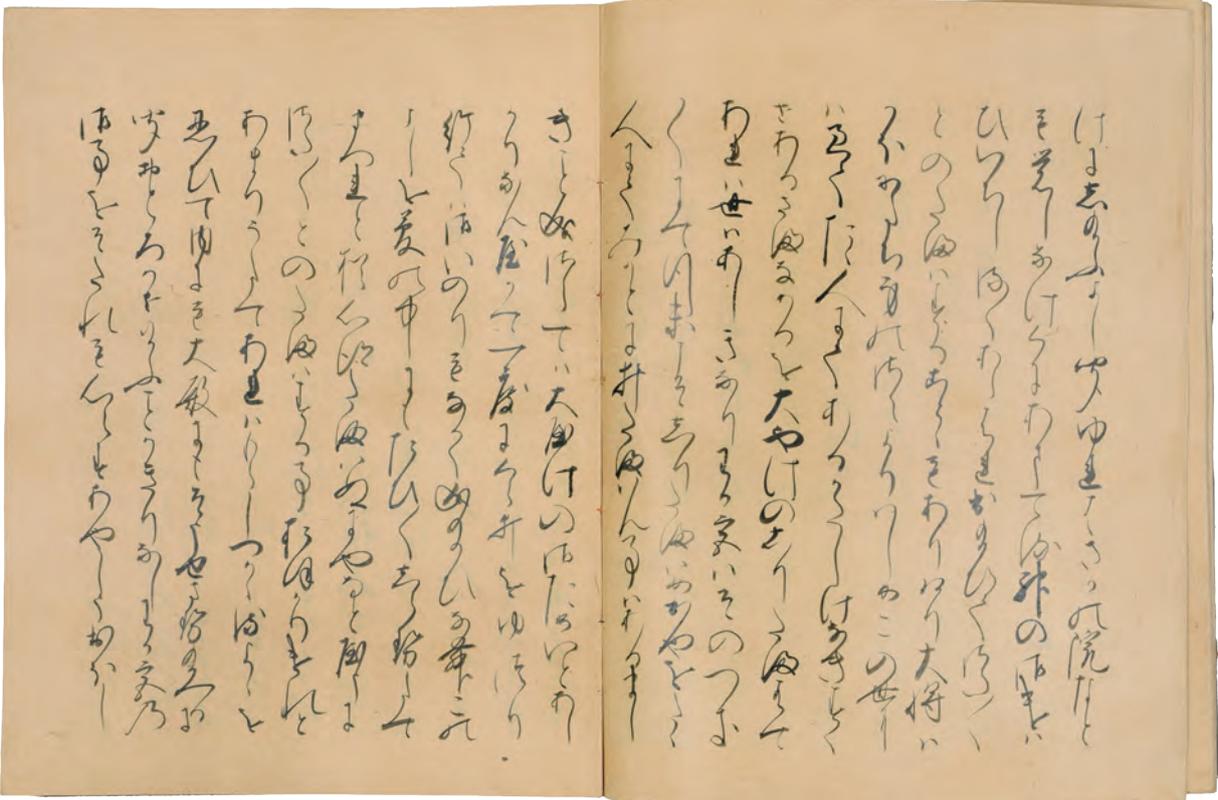
114 ウ



116 オ

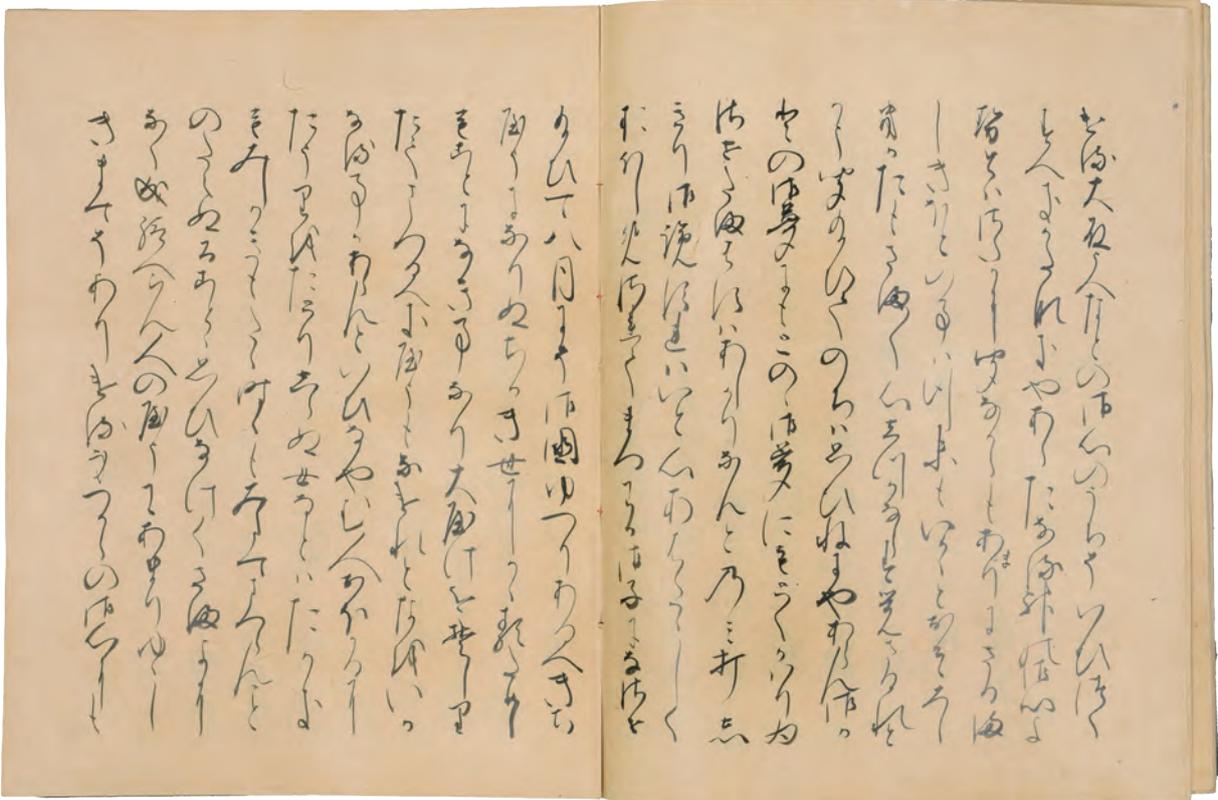
115 ウ

117 オ
 116 ウ
 118 オ
 117 ウ



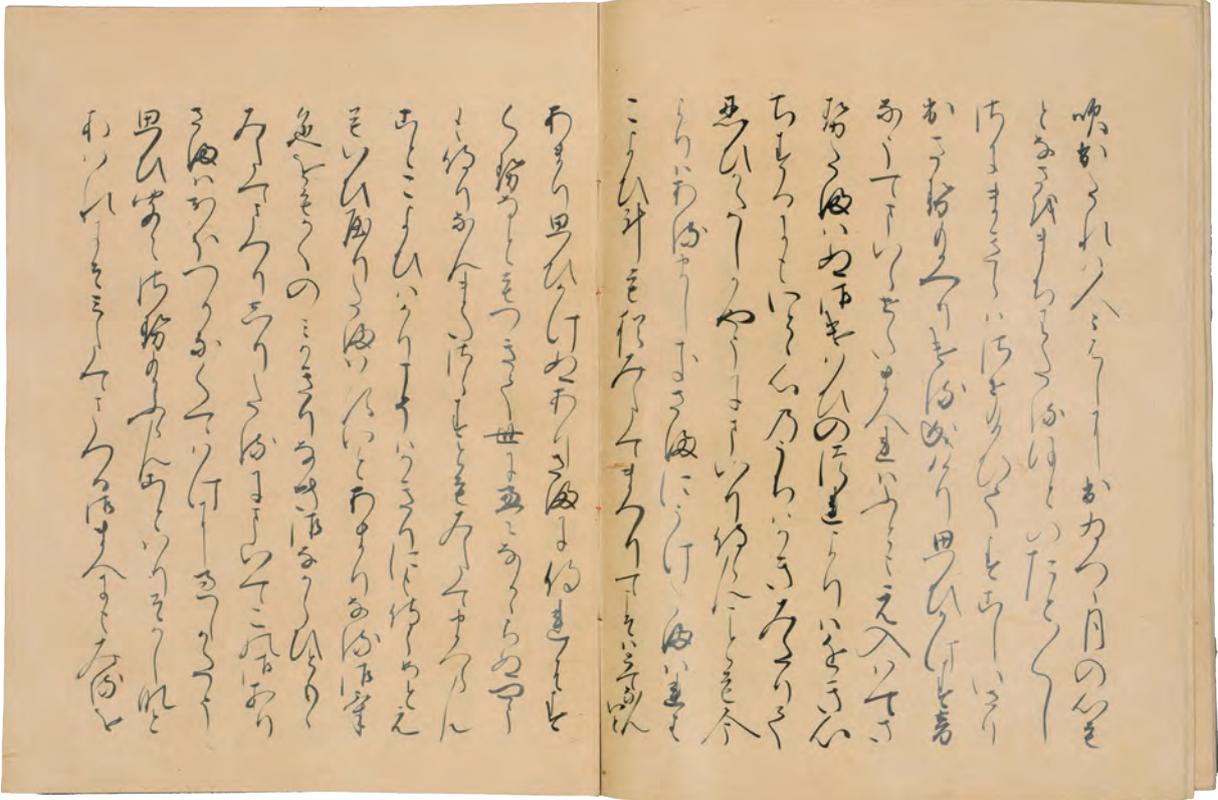
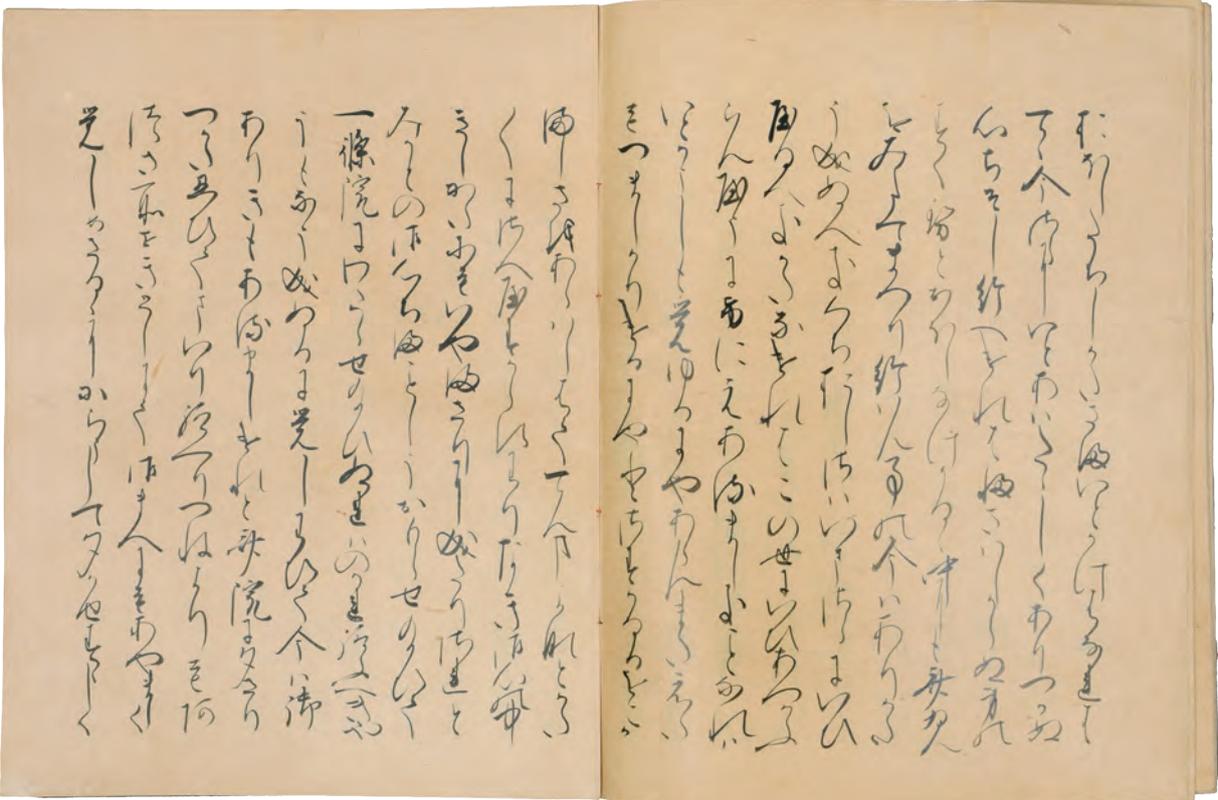
123 オ

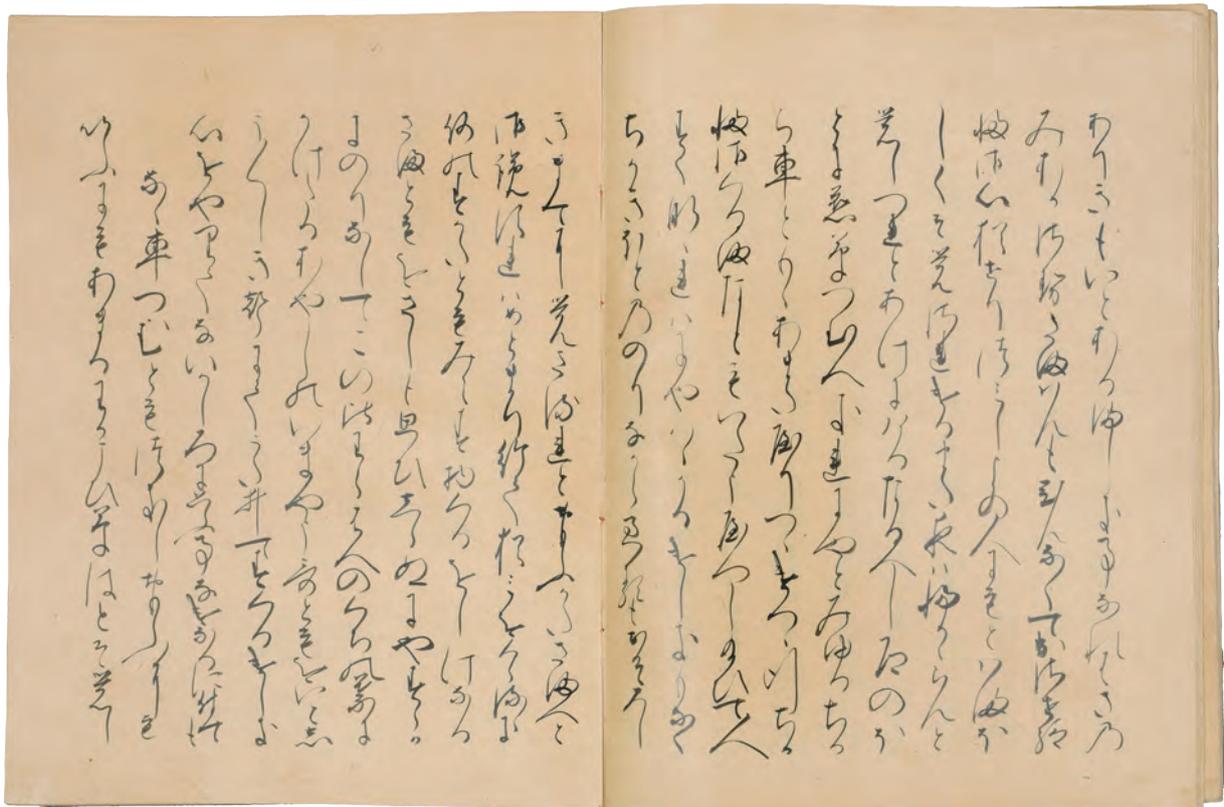
122 ウ



124 オ

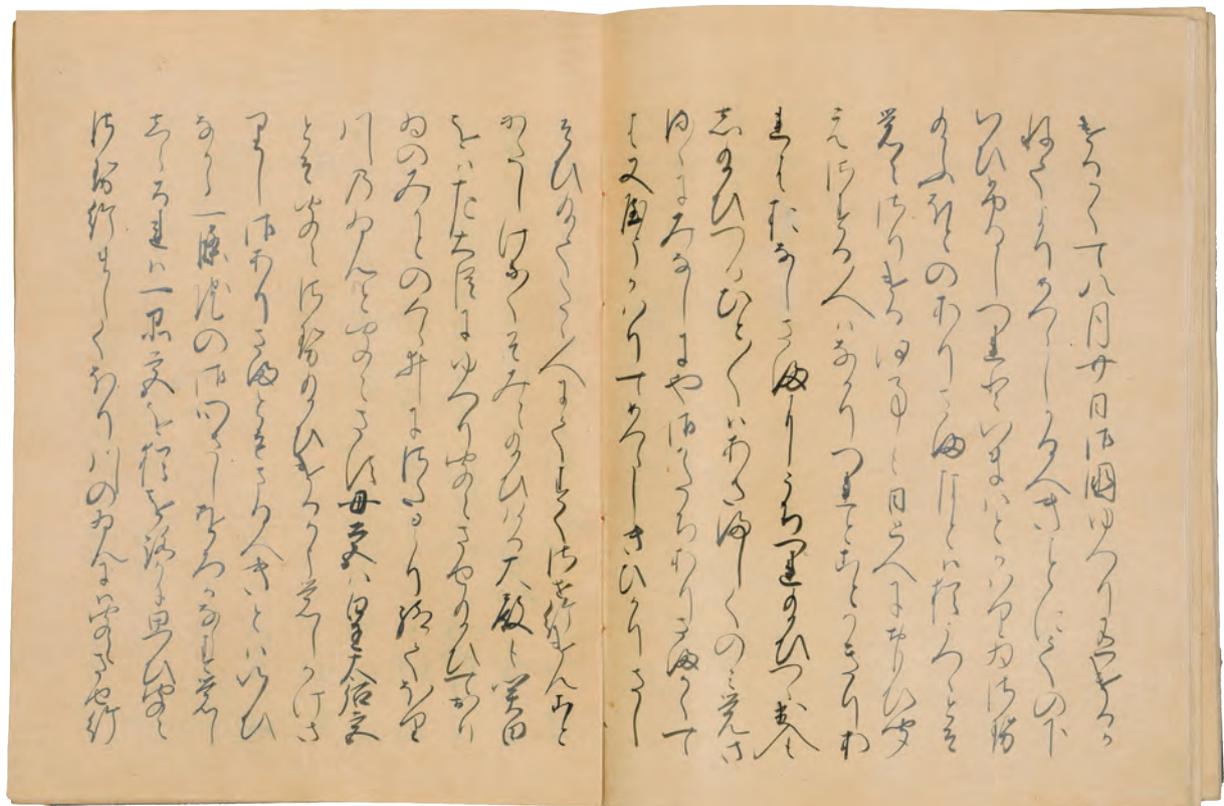
123 ウ





129 オ

128 ウ



130 オ

129 ウ

とてあつらひくまのわたりま
らわたりくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま

中より脚をこきりて
らわたりくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま

のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま

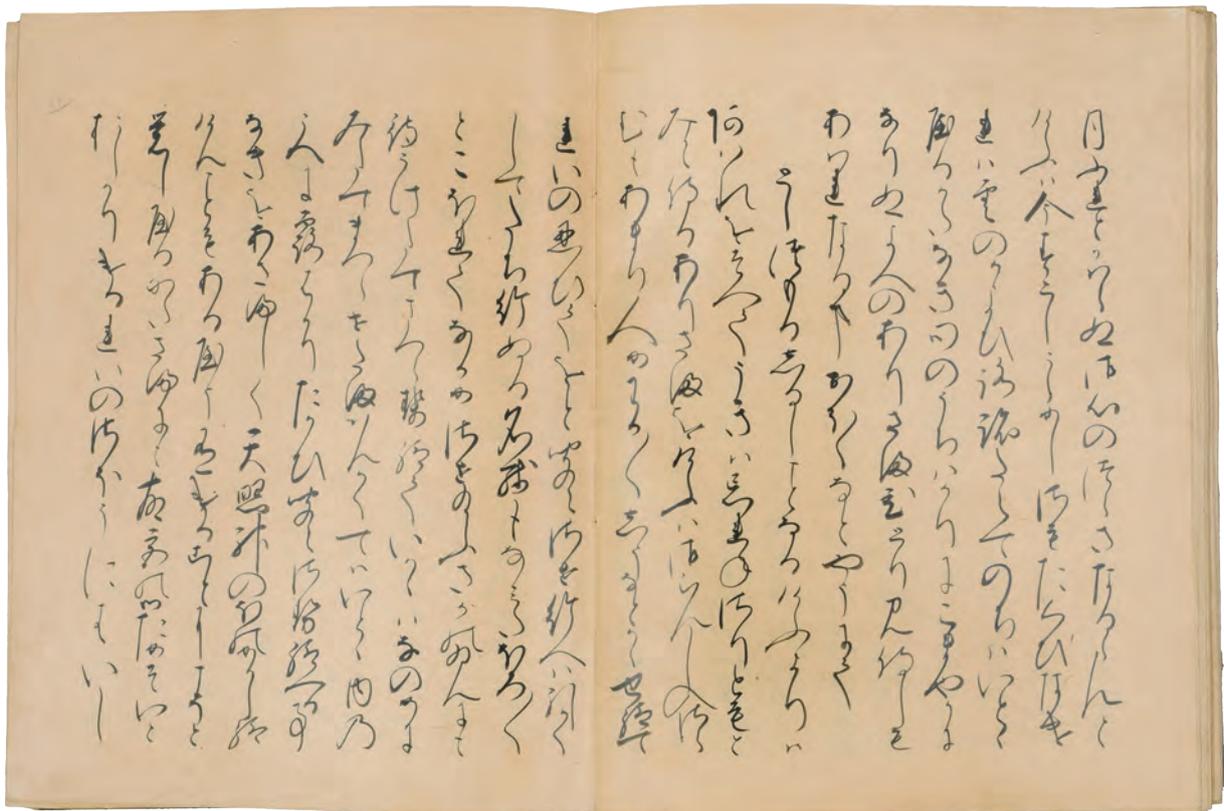
とてあつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま
のつらひくまのわたりま

その中かき一まのほわけぬさういひし
さうはらういひぬ人かこいひひら
わしきしわさわさうわはらういひし
うりこのわさしひの露とぬきしとえん
わさつりしあふとさうわはらういひし
こいひやう一およさういひしとすけ
ほひひしとわさぬさういひしとぬい
はらういひしとわさぬさういひしとぬい
わのつらしとわさぬさういひしとぬい
わのつらしとわさぬさういひしとぬい

さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし

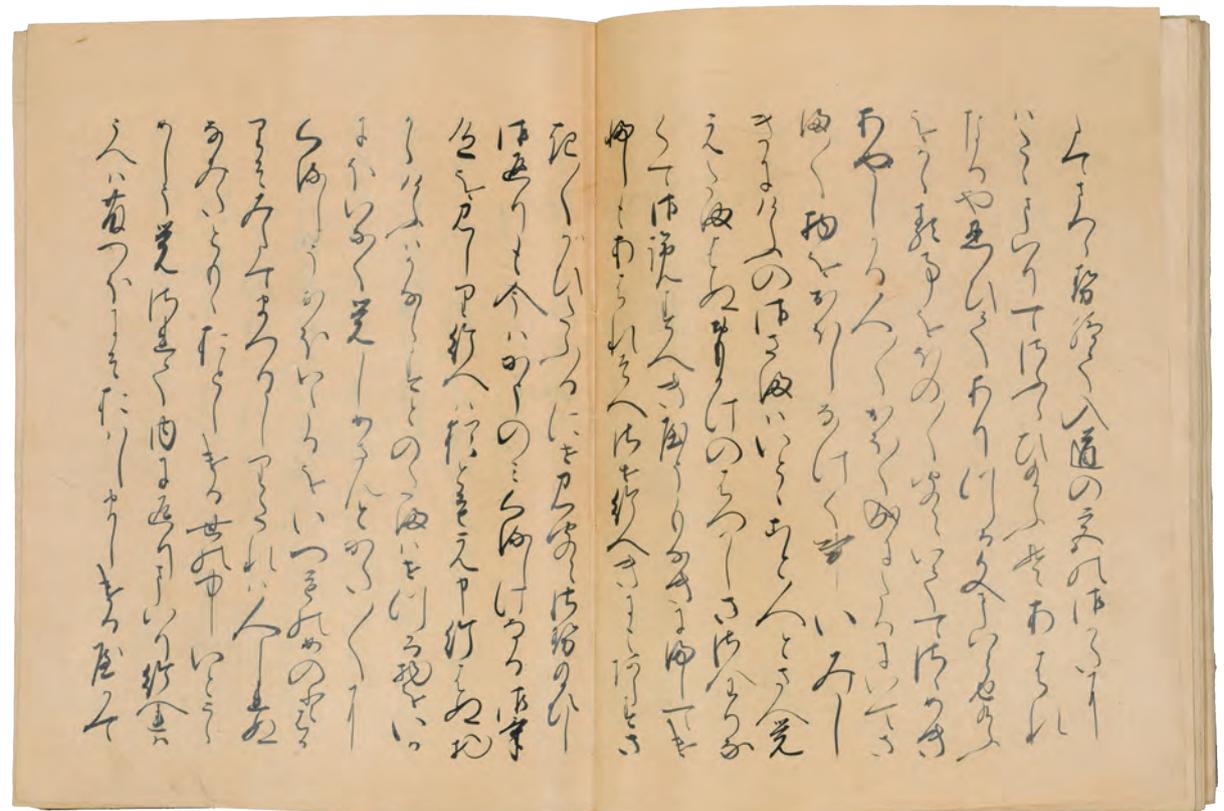
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし

さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし
さうわらういひしとわさぬさういひし



157 オ

156 ウ



158 オ

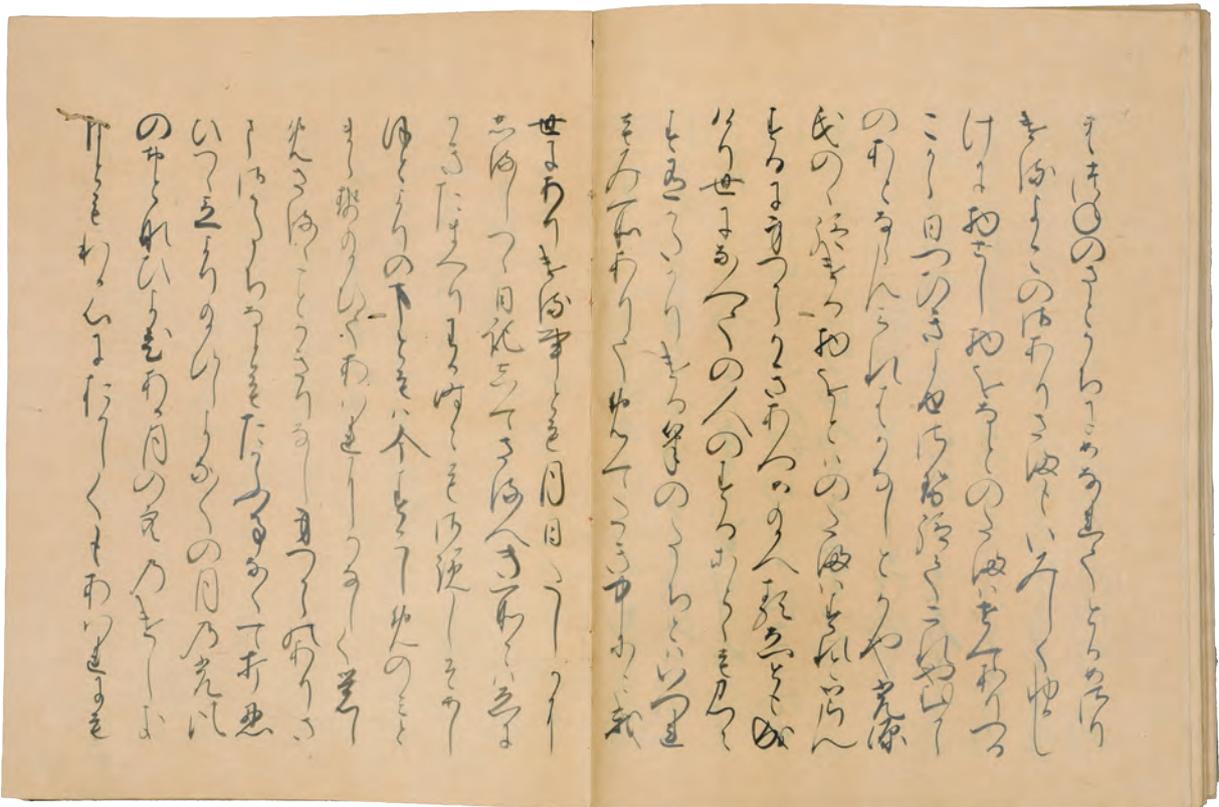
157 ウ

わらわらまはるるあはれいふのうら
みられしうらつらとまらあ
今もいそぎをいひさしうらみぬ
野中のあはれゆきしとまらあ
もはあゆむとあはれいふ
うらつらとまらあ
とまらあゆむとあはれいふ
みきんてうらつらとまらあ
いふとまらあゆむとあはれいふ
うらつらとまらあゆむとあはれいふ

とまらあゆむとあはれいふ
のほろろとあはれいふ
あはれいふとまらあ
うらつらとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ

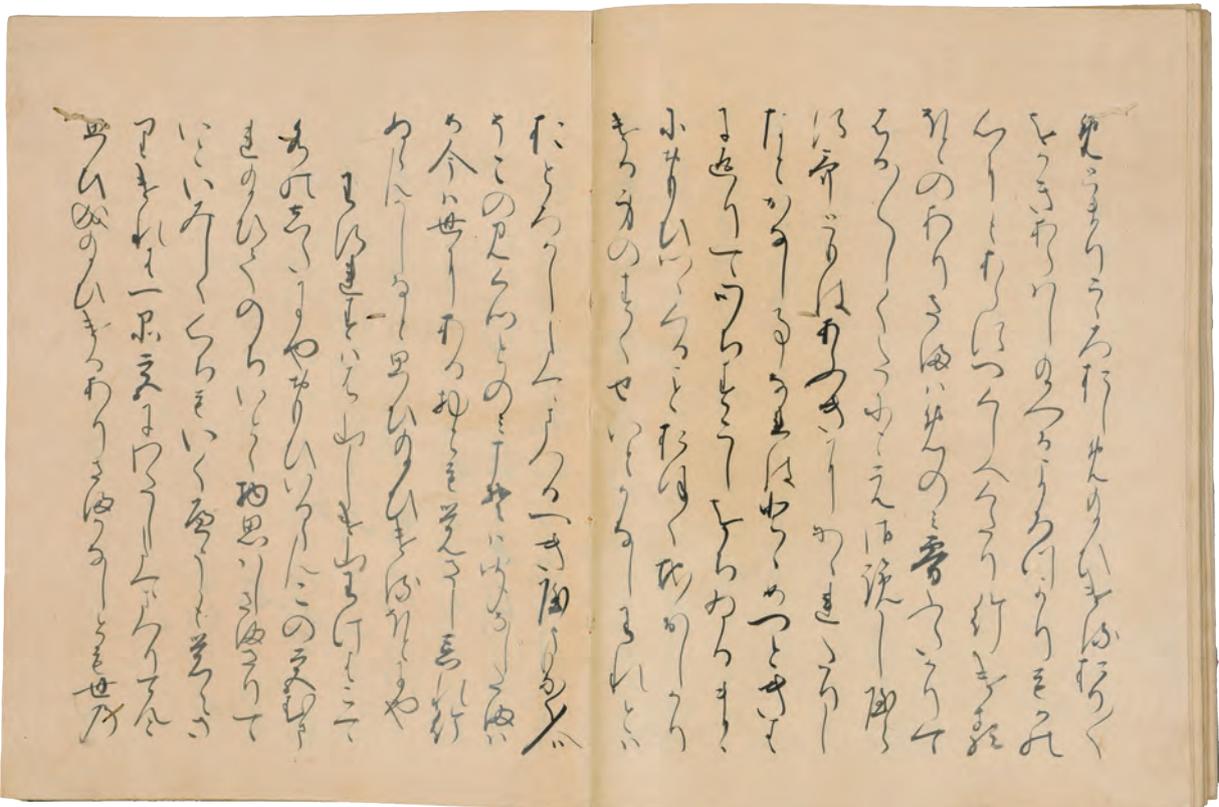
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ

あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ
あはれいふとまらあ
まらあゆむとあはれいふ



171 オ

170 ウ



172 オ

171 ウ

175 オ
 174 ウ

176 オ
 175 ウ

しりあぐわき佛よむひすほを
おぐたやくむしは格の人と福介い
ら格の海多れよこの十日とぬむと
ふくえり井子格の海つゆをせけい
はふらよき誰とるふらけいはつぎま
一徳院の宿兵いやまやときこのはむい
てあはつまきやむひくまうあいく海
とまむくら海けらうゆとりとら
わの人きりこのはらうらうらにわわ
はゆまきあわらうらうは格のよ

176 オ

たりせんせとありーのふらうらよ
は格のくみふく海くしありて海ぬ
よくんとくむりひくうんていぬん
えらう海つらわいせはけりぬん
やそ寺よあふ格のひてこのはま
のらくいさくわくそ日目は多くてはく
てわうのは格のつらこのわんはら
はやうくくまうせんせくははれ
とらむらうらむきいぬん打んは
はふらうらうらむきいぬん打んは

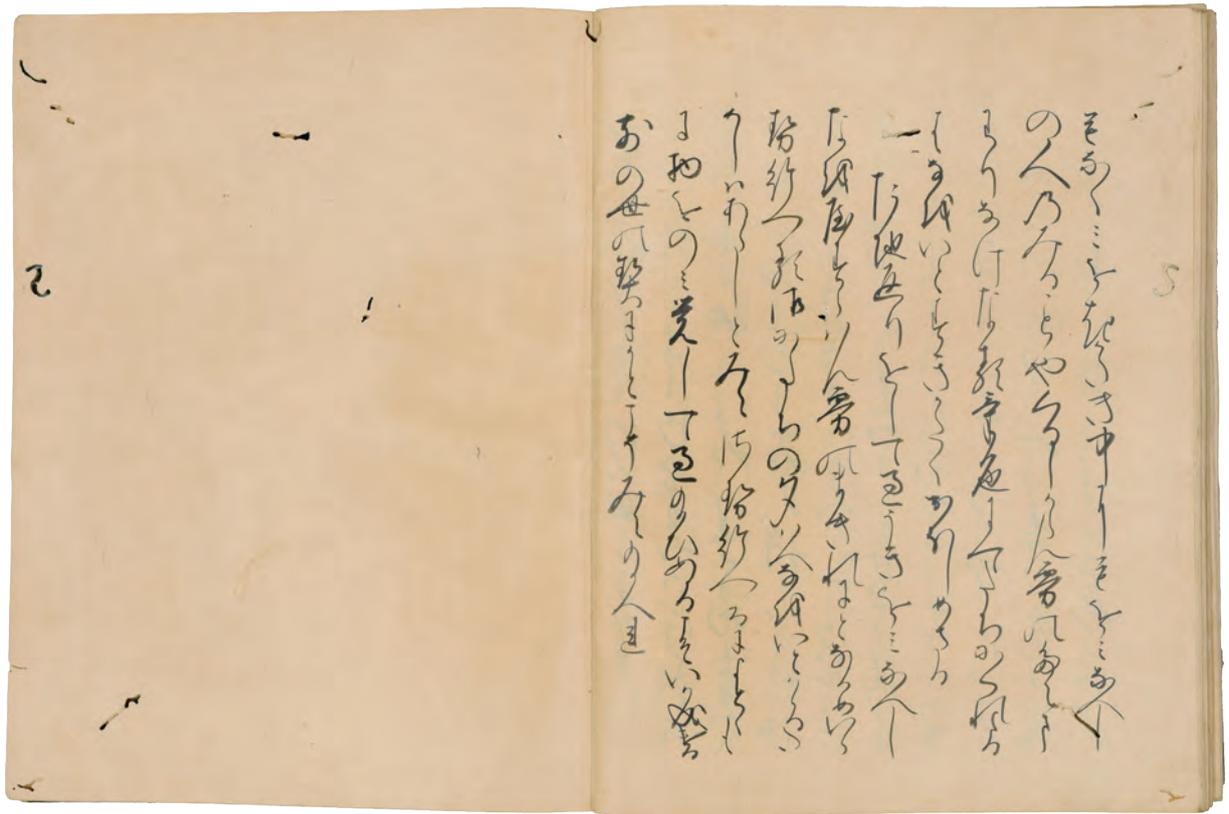
(175 ウ)

格のりくめんがすんてうとの海
しつと海きあにむらありまあふい
らと格しきるといふくくくく
さのふいとくはらふあすのふまふ
いりあふまははせは格の海つとま
てしと格のむつらむとわとわきと
よゆまきとてまきいふとむらうん
むらうらむけられつらうらふすね
あふ格のふかいあふいふてあふ
はらうらむらうらむらうらむらうら

177 オ

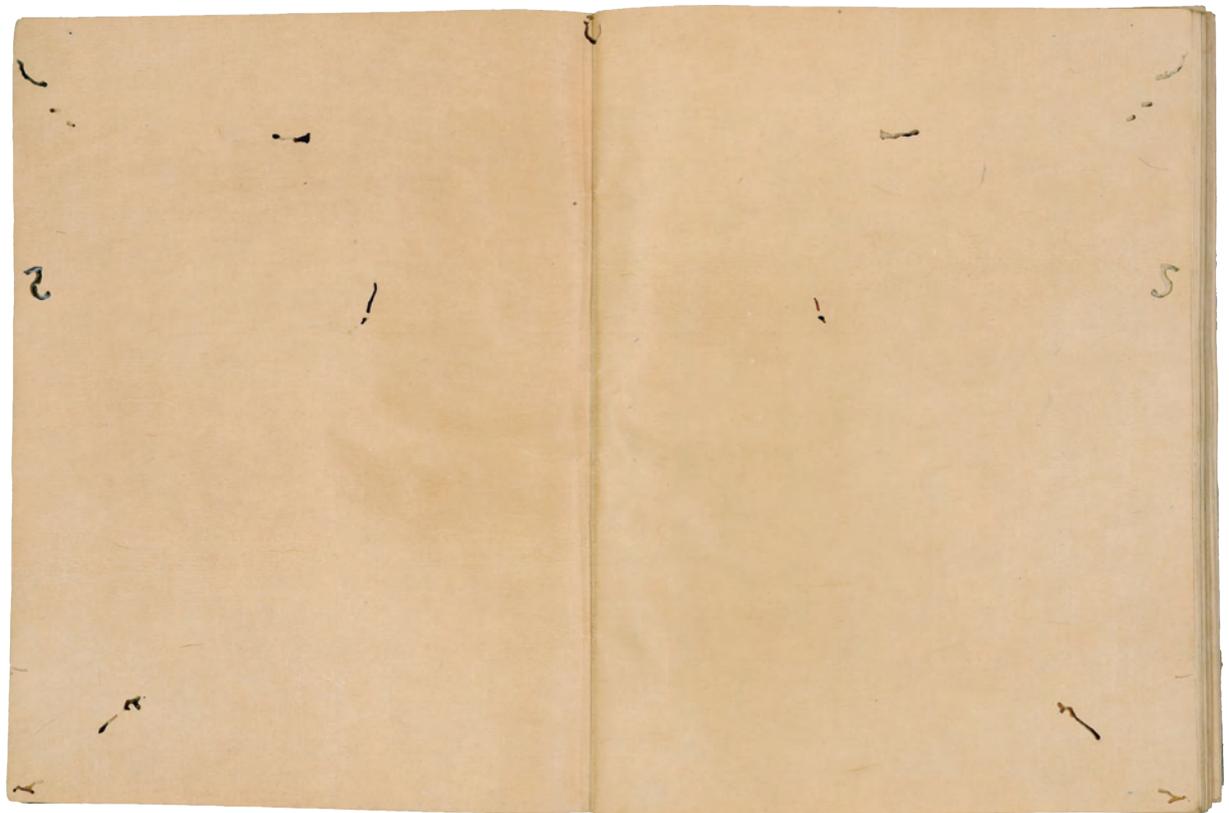
一徳院とら今一番のたいけん
しとわらふきう海はあふと海金八月一
日ら動幸わり院、あふらうら
ふいぐわらうらふとわは格のむら
正たいけんわりうらうらとせ格の
らうらうらうらうらうらうら
かきりぬひうのソセ格の海は
あふらうらうらうらうらうら
あふらう格のりくめんがすんて
解とのふらうらうらうらうら

176 ウ



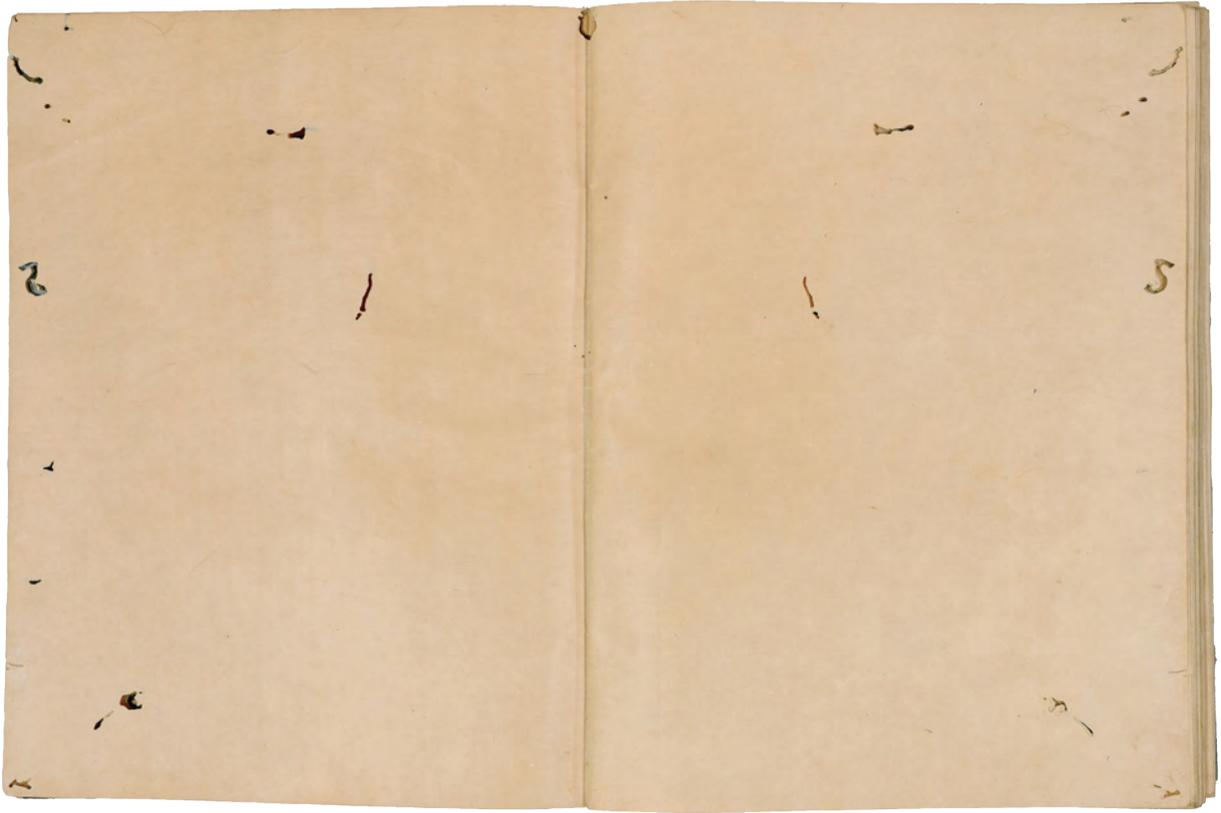
遊紙1表

181ウ



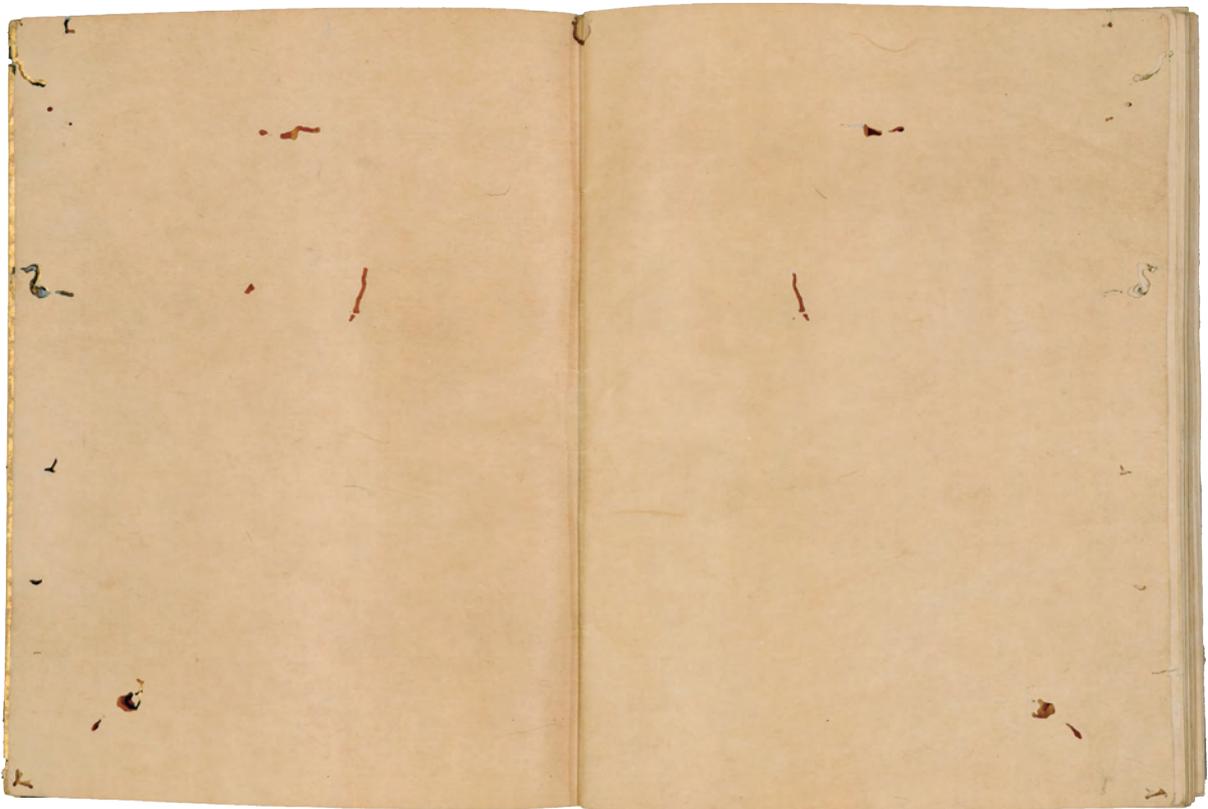
遊紙2表

遊紙1裏



遊紙 3 表

遊紙 2 裏



遊紙 4 表

遊紙 3 裏



裏表紙見返し

遊紙 4裏



裏表紙

(くげ
ひろとし
本学名誉教授)